



平成30年7月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年5月31日

上場会社名 株式会社アルチザネットワークス 上場取引所 東
 コード番号 6778 URL http://www.artiza.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 床次 隆志
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 清水 政人 TEL 042-529-3494
 管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成30年6月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年7月期第3四半期の連結業績（平成29年8月1日～平成30年4月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年7月期第3四半期	1,832	42.7	△437	—	△431	—	△502	—
29年7月期第3四半期	1,283	△31.5	△120	—	△113	—	△160	—

(注) 包括利益 30年7月期第3四半期 △555百万円 (—%) 29年7月期第3四半期 △86百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年7月期第3四半期	△62.29	—
29年7月期第3四半期	△19.94	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年7月期第3四半期	4,319	3,573	82.7	442.75
29年7月期	4,721	4,209	89.2	521.55

(参考) 自己資本 30年7月期第3四半期 3,573百万円 29年7月期 4,209百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年7月期	—	0.00	—	10.00	10.00
30年7月期	—	0.00	—	—	—
30年7月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年7月期の連結業績予想（平成29年8月1日～平成30年7月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,600	30.6	△545	—	△525	—	△661	—	△81.90

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年7月期3Q	9,562,000株	29年7月期	9,562,000株
② 期末自己株式数	30年7月期3Q	1,491,000株	29年7月期	1,491,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年7月期3Q	8,071,000株	29年7月期3Q	8,071,000株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本業績予想は、現在入手可能な情報から、当社の経営者の判断に基づき作成しております。従いまして、本業績予想のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えられるようお願い致します。また、実際の業績は様々な要因により本業績予想とは異なる結果となり得ることをご承知おきください。なお、業績予想に関する事項は3ページをご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

移動体通信分野では、LTEのサービスが世界各地で開始され、多種多様なモバイル端末の普及により、移動体通信の高速化・大容量化、サービス品質の向上に向けての研究開発及び設備投資が継続しております。国内においてはLTE-Advancedのサービスも普及し、既存のLTEのサービスに対して更なる高速化・大容量化が実現しております。また、LTE-Advancedへの研究開発投資も継続しつつ、LTE-Advanced Proや商用化に向けた第5世代(5G)通信方式の研究開発、IoT(Internet of Things)を活用した新たなサービスの実現に向けての研究も行われております。海外におきましても、LTE-Advancedサービスが開始されており、更なる移動体通信の高速化が全世界で進行しております。

また、固定通信分野におきましては、モバイル端末の普及、高速化により、ブロードバンドサービスが定着し、ビデオストリーミング等を中心としたデータトラフィックが急速に増加しております。通信事業者は、急増する多種多様な通信トラフィックに柔軟に対応するため、ネットワークの負荷低減に向けた投資や、ネットワーク処理のソフトウェア化を急速に進めながら、通信インフラの更なる高速化・大容量化を推進しております。

これらの技術や新サービスの導入に伴い、設備投資や研究開発投資の需要が見込まれる一方で、通信品質の問題や、事業者間による加入者獲得競争、サービスの低価格傾向は定着しており、通信事業者及び通信機器メーカーの投資意欲に関しましては、引き続き選別的な姿勢が継続されるものと予想されます。

このような状況の中、当社グループでは、以下の営業、マーケティング及び研究開発活動を行いました。

- (i) LTE-Advanced及びLTE-Advanced Proに対応する製品の開発及び販売
- (ii) 欧州、中国、北米、韓国、中東等の海外市場におけるLTE-Advanced対応製品の販売及び市場開拓
- (iii) 5Gに対応する製品の開発
- (iv) LTEに対応する製品の保守及び販売
- (v) 次世代ネットワーク及びネットワークセキュリティに対応した製品開発・商材開拓及び販売
- (vi) 通信分野における新事業に向けたマーケティング及び研究開発

その結果、当第3四半期連結累計期間におけるセグメント別の売上高は以下のとおりとなりました。

(モバイルネットワークソリューション) 1,630,385千円(前年同期比53.4%増)

当セグメントの売上高は、1,630,385千円となりました。LTE-Advancedの研究開発用途向けテストソリューションの海外向け販売が前年同期比で大幅に増加した結果によるものです。

(IPネットワークソリューション) 202,044千円(前年同期比8.7%減)

当セグメントの売上高は、202,044千円となりました。ネットワーク監視におけるパケットキャプチャツール「etherExtractor」の販売が前年同期比で増加したものの、コアネットワークテストの販売が前年同期比で減少した結果によるものです。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間におきましては、売上高1,832,430千円(前年同期比42.7%増)と前年同期比で大幅に増加となりましたが、海外向け販売の増加に伴う販売費の増加及び、LTE-Advanced対応製品の開発に加え、LTE-Advanced Pro及び5Gに対応する製品の研究開発費が大幅に増加したことにより、営業損失437,830千円(前年同期は営業損失120,342千円)、経常損失431,051千円(前年同期は経常損失113,613千円)となりました。また、当連結会計年度の業績見通しを踏まえ、繰延税金資産の回収可能性を検討しました結果、繰延税金資産の取崩しを伴う法人税等調整額62,854千円を計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純損失は502,780千円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失160,916千円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は2,886,184千円であり、前連結会計年度末に比べ370,949千円減少いたしました。商品及び製品が207,488千円、原材料及び貯蔵品が107,951千円増加した一方で、現金及び預金が780,580千円減少したことが主な要因であります。

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は1,433,809千円であり、前連結会計年度末に比べ30,287千円減少いたしました。有形固定資産が124,739千円増加した一方で、投資有価証券が157,915千円減少したことが主な要因であります。

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は560,748千円であり、前連結会計年度末に比べ136,719千円増加いたしました。買掛金が71,864千円、賞与引当金が28,222千円増加したことが主な要因であります。

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は185,803千円であり、前連結会計年度末に比べ98,049千円増加いたしました。長期借入金が97,950千円増加したことが主な要因であります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は3,573,441千円であり、前連結会計年度末に比べ636,006千円減少いたしました。利益剰余金が583,490千円減少したことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年7月期の業績予想につきましては、平成30年3月1日の「通期業績予想の修正及び繰延税金資産の取崩し並びに配当予想の修正(無配)に関するお知らせ」で公表いたしました連結業績予想から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,172,116	1,391,535
受取手形及び売掛金	673,605	708,572
有価証券	16,867	15,966
商品及び製品	202,909	410,398
仕掛品	11,282	43,662
原材料及び貯蔵品	60,114	168,066
その他	120,237	147,981
流動資産合計	3,257,133	2,886,184
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	15,078	232,629
車両運搬具(純額)	216	54
工具、器具及び備品(純額)	432,498	410,642
土地	16,794	16,794
建設仮勘定	70,792	—
有形固定資産合計	535,380	660,120
無形固定資産	15,837	61,622
投資その他の資産		
投資有価証券	649,880	491,965
その他	262,997	220,100
投資その他の資産合計	912,878	712,065
固定資産合計	1,464,096	1,433,809
資産合計	4,721,230	4,319,993
負債の部		
流動負債		
買掛金	263,983	335,847
1年内返済予定の長期借入金	4,200	21,000
未払法人税等	286	11,750
賞与引当金	33,003	61,225
その他	122,556	130,924
流動負債合計	424,029	560,748
固定負債		
長期借入金	75,800	173,750
資産除去債務	11,953	12,053
固定負債合計	87,753	185,803
負債合計	511,782	746,551
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,359,350	1,359,350
資本剰余金	1,503,745	1,503,745
利益剰余金	1,901,188	1,317,697
自己株式	△505,530	△505,530
株主資本合計	4,258,753	3,675,262
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△53,800	△112,236
為替換算調整勘定	4,495	10,415
その他の包括利益累計額合計	△49,305	△101,821
純資産合計	4,209,447	3,573,441
負債純資産合計	4,721,230	4,319,993

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年8月1日 至平成29年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年8月1日 至平成30年4月30日)
売上高	1,283,814	1,832,430
売上原価	369,680	715,830
売上総利益	914,134	1,116,599
販売費及び一般管理費	1,034,476	1,554,430
営業損失(△)	△120,342	△437,830
営業外収益		
受取利息及び配当金	4,282	3,765
為替差益	2,230	—
投資有価証券売却益	—	5,086
その他	275	1,417
営業外収益合計	6,788	10,269
営業外費用		
支払利息	60	520
為替差損	—	2,929
その他	—	40
営業外費用合計	60	3,490
経常損失(△)	△113,613	△431,051
特別利益		
固定資産売却益	212	—
特別利益合計	212	—
特別損失		
投資有価証券評価損	74,219	—
特別損失合計	74,219	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△187,620	△431,051
法人税、住民税及び事業税	2,499	8,875
法人税等調整額	△29,202	62,854
法人税等合計	△26,703	71,729
四半期純損失(△)	△160,916	△502,780
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△160,916	△502,780

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年8月1日 至平成29年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年8月1日 至平成30年4月30日)
四半期純損失(△)	△160,916	△502,780
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	72,497	△58,435
為替換算調整勘定	1,592	5,920
その他の包括利益合計	74,089	△52,515
四半期包括利益	△86,827	△555,296
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△86,827	△555,296
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年8月1日至平成29年4月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		四半期連結損益計算書 計上額(注)
	モバイル ネットワーク ソリューション	IP ネットワーク ソリューション	
売上高			
外部顧客への売上高	1,062,539	221,275	1,283,814
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	1,062,539	221,275	1,283,814
セグメント利益又は損失(△)	117,452	△237,795	△120,342

(注)セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年8月1日至平成30年4月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		四半期連結損益計算書 計上額(注)
	モバイル ネットワーク ソリューション	IP ネットワーク ソリューション	
売上高			
外部顧客への売上高	1,630,385	202,044	1,832,430
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	1,630,385	202,044	1,832,430
セグメント損失(△)	△164,807	△273,022	△437,830

(注)セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。